



南千住警察署より
緊急のお知らせ アポ電多発中

6月28日(月)、南千住警察署管内でアポ電(ウソ電話)が4件発生致しました。

1. 平成22年6月28日(月)午前9時30分頃、南千住5丁目在住の70歳代(女性)に男の声で「オレのことわかる？」と電話があり、受けた女性が「○○○かい？」と息子の名前を言ったところ「そう○○○」だけで、会社で税務署関係の不備があり、至急お金が必要なので20万円用意して欲しい。」
2. 平成22年6月28日(月)午前9時40分頃、南千住6丁目在住の30歳代(女性)に男の声で「母さん、オレだけどJR落し物センターから電話が入っている？」との電話があり、女性には息子がいないの

で「どこに電話しているの。うちには息子はいない」と伝えたところ、「あ、間違えた」と一方的に電話を切られた。

3. 平成22年6月28日(月)午前10時頃、南千住8丁目在住の50歳代(女性)に男の声で「△△△(本当の息子の名前)だけど、電車内にバックごと携帯電話や会社の重要な書類を忘れた。」と電話があり、「何か声がおかしいけど、どうしたの？」と聞くと「わかる？今風邪ひいてるんだ。」と咳き込みながら「すぐに50万円が必要なんですけど、取り敢えず20万円くらい用意できないか。」

同居している長女(30歳代)が不審に思い、息子の会社に電話したところ、息子はそんな電話をしていないという事実が確認され、その後近くの交番へ相談した。

4. 平成22年6月28日(月)午前10時40分頃、南千住1丁目在住の50歳代(男性)に男の声で「おじいちゃん、◇◇◇だけに、JR落し物センターから電話が入らなにか」との電話があったが、男性には孫はなく◇◇◇は息子の名前とも違うので不審に思いながら聞いていると「電車の中にカバンごと携帯電話や財布、会社の書類を忘れた。取り敢えず、お金があるので10万円用意して欲しい。」
- アポ電を受けた男性は、振り込め詐欺ではないかと思ひ、警察に相談したため、

被害にあいませんでした。

※アポ電・お金を振り込ませる(手渡しさせる)ための手段として、被害者にだましのウソ電話をかけてくること

振り込め詐欺は、南千住警察署管内で昨年は2件、今年(6月末まで)は3件発生しております。警視庁管内(6月29日現在)では、振り込め詐欺750件発生し、被害金額は約10億円になります。

・息子や孫をよそおい、「風邪をひいて声がおかしい」「携帯番号が変わった」「すぐにお金を振り込んで欲しい」

・警察官になりすまし、「逮捕した泥棒があなたの通帳を持っていた」「銀行協会の者から電話がかかってくる」

・簡易裁判所と名乗り、「再三通知を出しても返事が無かったので、このままだと延滞金を払ってもらおう」



すべて犯人からのアポ電です!!
「何かおかしいな?」「本当かしら?」

おかしいなと思つたときは、すぐに家族や警察署へ相談しましょう。

振り込むな

確かめましたか

その電話

